

平成 26 年度 事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究では、時宜を得たテーマを設定し、会員や地域に役立つ実践的な調査研究を推進した。

幹事会提案の「東九州自動車道「北九州～宮崎」開通に関する調査研究」では、「観光・レジャー」、「フードビジネス」、「自動車産業を中心とした製造業」、「流通業」の4分野に焦点を絞り、企業の取り組みや動向等进行分析し、経済的な効果や地域活性化の論点、今後の課題等を取りまとめた。

「九州経済白書」は、地方創生の基盤となる「都市」に焦点をあてた。「まち」は、「ひと」が豊かな生活を送る場であり、多様な「しごと」を生み出す場である。しかし、その多くは人口減少下にあることから、その状況の中、魅力的で持続可能な都市再構築のあり方として、「集住とダウンサイジングによる成長点づくりの都市経営」を提言した。500m メッシュデータを独自に作成し、都市の成長点の見える化と都市構造の分析を行い、都市規模や人口増減に関わらず「集中都市」の都市パフォーマンス（にぎわい、しごとの多様性、新陳代謝、財政効率）が高いことを示している。

「九州経済調査月報」は、テーマを設定して、毎号一体性を持たせた編集を行った。誌面のわかりやすさと見やすさを重視して、質の向上に努めた。また具体的な企業の活動事例等を求める会員ニーズに対応して、4本の連載企画を行っている。

「データ九州」は、例年通り、戦略分野別に自治体予算を取りまとめるとともに、設備投資の分析（上期、下期）、海外進出企業リストをとりまとめた。

「図説九州経済」は、わかりやすさを重視して、地図表現の拡充に努めた。新たに、メッシュ人口・主要都市配置などを追加している。

「メールマガジン」は、九州発の新ビジネスや設備投資、各地域のプロジェクトに関する情報提供「Kyushu Business Headline」、BIZCOLI や九経調セミナー、図書館新着蔵書の紹介などを継続的に行っている。会員数は、3月末で2,507人（期初2,245人）と増加している。

① 幹事会からの提案によるテーマ

テーマ：『東九州自動車道「北九州～宮崎」開通に関する調査研究』

前年度の幹事会での提案を受けて、当会と(株)大銀経済経営研究所、(一財)みやぎん経済研究所との3機関による共同研究を行った。

■ 調査目的と調査内容

平成26年度をめぐりに東九州自動車道の北九州～宮崎間が開通する（一部7.2kmの未開通区間あり）にあたり、九州の高速交通体系整備の大きな目標であった東九州軸の形成、

ならびに循環型高速交通体系が達成される。この大きな節目にあわせて、東九州の南北軸と九州の循環体系を生かした事業活動の再構築や新たな挑戦の動き、地域活性化に向けた取り組み、生活環境の向上に向けた取り組みを整理・分析し、今後の東九州における地域づくりの方向性やその展望を試みた。

具体的には、「観光・レジャー」、「フードビジネス」、「自動車産業を中心とした製造業」、「流通業」の4分野における影響や企業の動向等についての分析を通して東九州自動車道の開通によってもたらされる経済的な効果、ならびに地域活性化を考える論点を提示した。

■体制

- ・ (株)大銀経済経営研究所、(一財)みやぎん経済研究所、(公財)九州経済調査協会の3機関での共同研究
- ・ 3機関研究会開催：4/15（火）於福岡、7/24（木）於宮崎、10/30（木）於大分

■成果の公表

- ・ 調査結果を月報等各機関の機関誌にて発表
九州経済調査月報での発表
5月号：特集 東九州道
7月号～11月号：シリーズ「東九州道新時代～東九州道開通をチャンスに」として企業の活用事例を紹介
12月号：特集 東九州道のインパクト
3月号：特集 東九州道開通
- ・ 12/19（金）幹事会で概要を発表
- ・ 12/19（金）研究報告会を開催（於・ホテルニューオータニ博多、参加者 230名）
- ・ 3月末 研究報告 No.230 『東九州自動車道（北九州～宮崎）開通のインパクト～循環型高速交通体系が拓く東九州の未来～』を刊行

②九州経済白書

『都市再構築と地方創生のデザイン

～集住とダウンサイジングによる成長点づくりの都市経営～』

平成 27（2015）年 2 月刊行

人口減少や社会環境変化に伴って変容する都市構造や都市の相互関係性について、九州・沖縄・山口の主要都市の動きを明らかにするとともに、今後の都市開発や都市政策、都市経営のあり方を探り、「都市の再構築」をキーワードとした地方創生の可能性を示す。

③九州経済調査月報等定期刊行物の発行

九州経済調査月報

5月号 4月24日 (木) 発行	<p>特集 東九州自動車道 (Report) 東九州自動車道「北九州～宮崎」開通をどう捉えるか ～東九州の地域活性化に向けた論点整理 東九州の新時代と観光・地域振興</p> <p>(連載) 九州の未来力② 価値創造の源流⑧ リバテーブ製菓(株) 海から見える九州⑩</p>
6月号 5月29日 (木) 発行	<p>特集 地域エネルギーインフラ (Report) 岐路に立つ九州のガソリンスタンド事業 燃料電池車用水素ステーションの整備と課題</p> <p>(One Point 解説) 経済センサス活動調査(2012)からみる九州の地域特性～開廃業率</p> <p>(連載) 価値創造の源流⑨ ユニバーサル・サウンドデザイン(株) 海から見える九州⑪</p>
7月号 6月30日 (月) 発行	<p>特集 健康商品・化粧品産業 (Report) 強みを増す九州の健康食品・化粧品産業 時代とともに変遷する有田焼 (株)香蘭社の挑戦</p> <p>(連載) 価値創造の源流⑩ (株)TASプロジェクト 九州の未来力③ 東九州新時代① 佐伯海産(株) NPO 法人宮崎県サーフィン連盟 アグリプレナーの実践① 平城商事(株)</p>
8月号 7月30日 (水) 発行	<p>特集 地域発インフラ輸出 (Report) 九州地域におけるインフラシステム輸出 都市間連携を活用したグリーンシティ輸出</p> <p>(One Point 解説) 経済センサス活動調査(2012)からみる九州の地域特性～小売業の中心性指標</p> <p>(連載) 価値創造の源流⑪ 工房まる 東九州新時代② (株)ハローデイ 杉乃井ホテル&リゾート(株) 宮崎県サイクリング協会 海からみえる九州⑫</p>
9月号 8月29日 (金) 発行	<p>特集 歴史コンテンツと地域活性化 (Report) NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」と地域活性化～放送による経済波及効果 歴史的資源をいかしたまちづくりと地域活性化～歴史まちづくり法を切り口として</p> <p>(連載) 福祉を”デザイン”する心のバリアフリーを目指して 価値創造の源流⑫ (株)くまもと健康支援研究所 東九州新時代③ 宇和島運輸(株) (株)フェリーさんふらわぁ NPO 法人ひむか感動体験ワールド アグリプレナーの実践② (株)百姓隊</p>
10月号 9月30日 (火) 発行	<p>特集 女性人材の育成 (Report) 女性リーダー育成の現状と課題～九州から新しい風を 女子大学におけるキャリア教育の実態と課題 2014年度九州経済の見通し(改訂) 駆け込み反動大きく、0.4%成長に下方修正</p> <p>(One Point 解説) 労働力調査からみる九州の地域特性～女性の就業率と労働力率</p> <p>(連載) 価値創造の源流⑬ e-アグリ(株) 東九州新時代④ (株)エヌ・ピー・シー松山工場 (株)マリーンパレス 道の駅「北浦」</p>
11月号 10月30日 (木) 発行	<p>特集 ハラルビジネス (Report) イスラムビジネスの動向と九州企業の可能性 ASEAN市場進出に必要な金融支援とローカライズ～(株)インスパイアの取組 鹿児島島の未来をひらく御楼門と薩摩の魂(講演録)</p> <p>(連載) 価値創造の源流⑭ ダイヤソルト(株) 東九州新時代⑤ (株)長尾製作所 (株)やまろ渡邊、宮崎市観光協会 アグリプレナーの実践③ ゼンカイミート(株)</p>

12月号 11月27日 (木) 発行	<p>特 集 東九州道のインパクト</p> <p>(Report) 東九州自動車道の製造業に対する影響~自動車産業を中心として 東九州自動車道が流通分野に与える影響 東九州自動車道がフードビジネスに及ぼすインパクト 東九州自動車道開通と宮崎県・大分県のレジャー・グルメを核とした観光</p> <p>(One Point 解説) 経済センサス活動調査(2010)からみる九州の地域特性 ~製造業の特化係数</p> <p>(連 載) 九州の未来力④ 価値創造の源流⑮ (株)システム・ジェイディー 海からみえる九州⑬ 呼子朝市の魅力</p>
1月号 12月25日 (木) 発行	<p>特 集 九州の新たな1年</p> <p>(Report) 2015年九州の論点 アベノミクスと日本経済の展望(講演録)</p> <p>(連 載) 価値創造の源流⑯ オーピーバイオファクトリー(株) アグリプレナーの実践④ (有)緑の農園</p>
2月号 1月29日 (木) 発行	<p>特 集 クリエイティブ関連産業とその支援策</p> <p>(Report) クリエイティブ関連産業に対する福岡市の支援機能 国家戦略特区などによる福岡市の創業支援 2015年度九州経済の見通し 消費税増税ショックを脱し、1.3%成長へ 時間制約のなかでの情報収集と整理方法の極意(講演録)</p> <p>(One Point 解説) 経済センサス基礎調査(2009)からみる九州の地域特性 ~九州3政令指定都市におけるクリエイティブ関連産業の特徴</p> <p>(連 載) 九州の未来力⑤ 価値創造の源流⑰ (株)建吉組 海からみえる九州⑭ 海洋深層水による発電実証と産業活用</p>
3月号 2月26日 (木) 発行	<p>特 集 東九州道開通</p> <p>(Report) 東九州自動車道開通後の課題と利用促進策 東九州道の開通と北九州地域の物流への影響~物流改善の視点から</p> <p>(連 載) 価値創造の源流⑱ (有)一平 アグリプレナーの実践⑤ オリザ鹿児島ファーム(株)</p>
4月号 3月27日 (金) 発行	<p>特 集 新しい公共</p> <p>(Report) 多様な主体による「ニューパブリック」形成の意義と課題 住民による住民のためのコミュニティ政策</p> <p>(連 載) 価値創造の源流⑲ (有)かたらんね 九州今昔物語① 孫文を支えた九州人と現在の価値 海からみえる九州⑮ 豊後水道の豊かな海と特産品で、大分県産の養殖ブリに 付加価値を</p>

◆データ九州(九州経済調査月報付録)

- (No1148) 九州・山口主要自治体の当初予算と発展戦略 2014
- (No1149) 九州・山口の設備投資 2014 上半期(1~6月)
- (No1150) 九州・山口の設備投資 2014 下半期(7~12月)
- (No1151) 九州・山口企業の海外進出 2014

◆メールマガジン(九経調ニュースレター)

メールマガジン配信件数 2,507件(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

◆2015年版 図説九州経済

平成26年(2014年)10月 刊行

(2) 受託研究事業

国や地方自治体等からの受託研究は合計 64 件。本数は前年度並みだが、大型の案件が比較的多かった。

平成 26 年度の特徴として、地方創生に対する注目度の高まりから、人口増加・維持、及び労働力人口減少と産業人材に関連する調査が多くなっている点が挙げられる。将来人口予測に係る調査に加え、交通ネットワークの強化により定住人口の維持・増加策を検討する調査（福岡通勤・北九州在住の支援可能性基礎調査）、労働力不足下において成長分野等へのシフト等を企図する文部科学省の調査事業（社会資源である教育機関が担う医療・福祉・健康分野の中核的専門人材のコミュニティづくり）、そして、外国人労働力に関する調査も複数手掛けている（海外人材活用調査〔九州の地域経済社会における外国人労働者との共生推進可能性調査〕、「少子高齢化・雇用委員会」設立支援）。

このほか、25 年度と同様、環境・エネルギー関連の調査案件も数多く手掛けたが、とりわけ、26 年度は地熱発電に関する調査案件が多かった。

また、ここ数年、目立つ案件として、新技術に係る市場調査や、プロジェクトメイキングに関連した調査がある。大学等有する技術を国内外の医療や福祉に活用し、新産業創出と社会の課題解決を企図するものである（九州大学 BAN ポータブルクリニックシステムの市場調査、ロボティクスとセンシング技術を駆使したスマートアシスト社会の創出に関する市場調査、中小企業の生産現場向け R T 活用プロジェクト研究会支援等）。

このほか、地元経済 4 団体のトップが一堂に会する「九州経済を考える政策懇談会」や、次世代を担う地域の人材育成を目的とした九州大学セミナー「地域政策デザイナー養成講座」支援事業など、広く地域経済に資する取り組みも継続して行っている。

景気関連では、内閣府の景気ウォッチャー調査を継続して行っているほか、内閣府の地域別支出総合指数（RDEI）の作成も引き続き行っている。

【分野別受託研究一覧】

(景気分析・統計分析)		
1	地域ブロック別支出指標(RDEI)の作成・分析・検証	内閣府 政策統括官(経済財政分析担当)付参事官室
2	景気ウォッチャー調査(九州地域)	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
3	*****	***
4	「福岡県の経済データファイル」の作成に関するデータ収集・加工、グラフ作成、編集	福岡県 商工部 商工政策課
(地域振興)		
5	沖縄県の離島における石油製品価格調整関連施策の効果に関する調査	沖縄県 企画部 地域・離島課
6	地域政策デザイナー養成講座支援	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
7	九州経済を考える懇談会	(一財)九州地域産業活性化センター
8	地域経済波及効果に関する調査	延岡市 企画課

9	福岡通勤・北九州在住の支援可能性基礎調査	北九州市 総務企画局 政策部 企画課
10	九州のビジネス環境に関する実態調査	九州経済国際化推進機構 (KEI)
11	福岡市シティプロモーションサイト「Fukuoka Facts」運営支援	福岡市 市長室 広報戦略室 広報戦略課
12	九州地域臨海部における今後の投資戦略動向把握	九州地方整備局 物流企画課
13	大河ドラマ「軍師官兵衛」による経済波及効果算出業務	「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会
(産業振興)		
①産業全般		
14	産業集積戦略構築事業	うるま市 経済部 企業立地雇用推進課
15	鹿児島県産業動向調査事業	鹿児島県 商工労働水産部 産業立地課
16	直方市産業振興ビジョン策定	直方市 産業建設部 商工観光課
17	平成 23 年熊本市産業連関表作成	熊本市 企画振興局 統計課
18	新産業団地開発基本計画策定	久留米市 商工労働部 企業誘致推進課
19	新産業団地開発基本計画策定	(一社)久留米市開発公社 久留米市土地開発公社 事業開発課
20	直方市企業ガイド作成業務委託	直轄産業振興センター アドックス福岡
②電子部品・デバイス関連		
21	滋賀県とベトナムとの経済交流支援	株産業タイムズ社 (滋賀県)
22	スマートエイジング社会構築に向けた国際市場動向・技術動向調査	財福岡県産業・科学技術振興財団 (ふくおかIST) 先端半導体設計センター
23	鶴岡市企業誘致調査	株産業タイムズ社 (鶴岡市)
③環境・エネルギー		
24	再生可能エネルギー産業化に向けた調査及びプラン作成	(一社)九州経済連合会
25	再生可能エネルギー等の一産業化に向けた現状と可能性調査	(一財)九州地域産業活性化センター
26	福岡県内における分散型エネルギーの普及可能性に関する調査研究	福岡県 企画・地域振興部 総合政策課 エネルギー政策室
27	福岡県再生可能エネルギー導入支援システムに係るデータ更新業務	福岡県 企画・地域振興部 総合政策課 エネルギー政策室
28	平成 26 年度九州版炭素マイレージ制度に係る地域運営管理事務局	大分県 地球環境対策課
29	エネルギー分野新事業創出プロジェクト	(一財)九州産業技術センター(九州経済産業局 エネルギー対策課)
30	九州近海における海底資源開発・利用プロジェクト創出支援	(一財)九州地域産業活性化センター
31	九州ソーラーネットワーク事務局運営	九州ソーラーネットワーク (SONEQ)
32	大分県九重町における林業経営による蒸気型温泉発電事業の可能性調査 (「平成 26 年度新エネルギー等共通基盤整備促進事業」地域における再生可能エネルギー等導入支援)	株三菱総合研究所 戦略コンサルティング本部 産業戦略グループ (資源エネルギー庁)
33	地熱・温泉熱産業化ポテンシャル調査	大分県 工業振興課
34	小国町公共施設の低炭素化に関する調査・計画策定	小国町 情報課
④観光		
35	平成 26 年度外国人観光客実態調査 (海路)	沖縄県 文化観光スポーツ部 観光政策課
36	総合特別区域事後評価書等の作成支援	(一社)九州観光推進機構 企画部
37	国境観光モデルの確立に向けたシンポジウム等企画・運営	対馬市 総合政策部 政策企画課
38	八重山・台湾における国境観光の可能性調査	竹富町 企画財政課
39	観光客満足度調査実施業務	(一社)九州観光推進機構 企画部

⑤農林水産・食料品		
40	平成 26 年度 西諸（二期）農業水利事業 地域経済波及効果検討	九州農政局 西諸農業水利事業所
41	福岡市食肉市場経営展望策定	福岡市 農林水産局 中央卸売市場鮮魚市場
42	筑後川における上下流関係についての調査分析	(公財)筑後川水源地域対策基金
43	新しい日田の森林・林業・木材産業ビジョン策定	日田市 農林振興部 林業振興課
⑥医療・福祉		
44	2030 年代をみすえた機能統合型コミュニティ形成技術	(独法)科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター
45	福岡型地域包括ケアシステム推進事業支援	福岡市 保健福祉局 高齢社会部 地域保健課
46	地域包括ケアシステムの実現に向けたパートナーシップ型の訪問看護師養成事業開発	(学)麻生塾 (文部科学省)
47	社会資源である教育機関が担う医療・福祉・健康分野の中核的専門人材のコミュニティづくり	(学)麻生塾 (文部科学省)
48	高齢者生活支援人材育成事業 (統括業務) 評価業務支援	福岡市社会福祉協議会
49	九州大学 BAN ポータブルクリニックシステムの市場調査	DBJ キャピタル㈱
⑦新産業・その他		
50	中小企業の生産現場向け R T 活用プロジェクト研究会支援	北九州市 産業経済局 企業立地支援部 企業立地支援課
51	パーツネット北九州の部会向けプログラム実施支援	北九州市 産業経済局 企業立地支援部 企業立地支援課
52	ロボティクスとセンシング技術を駆使したスマートアシスト社会の創出に関する市場調査	(独法)九州工業大学
(社会資本)		
53	厳原港県単調査委託 (人流・物流拡大検討業務)	長崎県 対馬振興局 河港課
54	J R 佐世保線の輸送改善に向けた調査	長崎県 新幹線・総合交通対策課
55	ビジネス需要把握のためのアンケート調査	福岡空港ビルディング㈱
56	新規路線就航に関する調査	福岡市 経済観光文化局 空港対策課
57	九州のインフラ経済効果に係る資料収集整理	九州地方整備局 企画部企画課
(雇用・人材育成等)		
58	海外人材活用調査 [九州の地域経済社会における外国人労働者との共生推進可能性調査]	(一財)九州地域産業活性化センター
59	「少子高齢化・雇用委員会」設立支援	(一社)九州経済連合会
60	福岡市高齢者の創業・就業検討委員会運営支援等業務	福岡市 保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課
(行財政)		
61	福岡県民意識調査	福岡県 企画・地域振興部 総合政策課
62	小学校区における将来推計人口調査	北九州市 総務企画局 政策部 企画課
63	佐世保市受益者負担基準検討調査	佐世保市 財務部 財政課
64	東京都の市所有地の活用方法調査	佐世保市 財務部 財政課
(シンポジウム等)		
	The 14th International Workshop on Microelectronics Assembling and Packaging	アジア半導体機構 (ASTSA)

(3) 九経調地域研究助成顕彰事業

当会では、九州の地域経済の振興に関する事業の実施と助成を活動の目的の1つとしており、平成26年度から新たに「九経調地域研究助成顕彰事業」をスタートした。九州の地域浮揚のため、当会の自主研究を強化することとあわせて、地域からの人材発掘を進める。9月に産学の5名の委員で構成する「九経調地域研究助成顕彰委員会」において3件の助成先を選定した。2月の「九経調地域研究助成顕彰委員会」において顕彰者を決定、3月に表彰と研究発表会を開催した。なお顕彰事業は、福岡大寄付研究連携新殖産興業イノベーション研究講座からの助成論文も対象とし、賞を贈った。

九経調地域研究助成顕彰委員会 委員

	氏名（敬称略）	所属	役職	備考
1	長尾 亜夫	西日本鉄道(株)	相談役	民間
2	川崎 隆生	(株)西日本新聞社	代表取締役社長	民間
3	嶋津 祐一	(株)日本政策投資銀行	九州支店長	民間
4	安浦 寛人	九州大学	副学長	大学
5	森本 廣	(公財)九州経済調査協会	理事長	

九経調地域研究助成事業スケジュール

日程	内容
8月22日（金） ～9月19日（金）	平成26年度 九経調地域研究助成事業 研究テーマの募集
9月24日（水）	九経調地域研究助成顕彰委員会開催。助成先3件の選定 （～平成27年1月31日 論文提出締切）
2月19日（木）	九経調地域研究助成顕彰委員会開催。顕彰者の選定
3月27日（金）	表彰、研究発表会を開催

九経調地域研究助成事業 審査結果

	助成論文	受賞者	助成元
最優秀賞	史跡等文化財活用へのPPP導入のあり方 ～鶴丸城御楼門復元プロジェクトからの考察～	(株)産学連携機構九州 吉村茂氏	九経調
優秀賞	「国境観光」と地域づくりの連携可能性 ～長崎県対馬市の事例を中心に～	九州大学持続可能な社会のための 決断科学センター 花松泰倫氏	九経調
	九州経済の活性化に向けた九州ブランドの創出 可能性調査～共通シンボルマークを創り、九州ブランドを海外へ～	(株)正興電機製作所 武内勝氏	福岡大学
佳作	九州出島化構想	本多機工(株) 龍造寺健介氏	九経調
	「クリスマスマーケット」の提案	(株)サエキジャパン 佐伯岳大氏	福岡大学
	歴史と現代の融合 西海道ヘルスツーリズム ～現代アートと地域資源を活用したツーリズムの実現～	(株)正興電機製作所 松田夕子氏	福岡大学

奨励賞	九州に寄附しよう ～九州版ふるさと納税の検討～	九州電力(株) 東谷正文氏	福岡大学
	九州の多種多様なご当地観光資源を、点から面に ～観光資源に対する品質認証制度導入の検討～	福岡商工会議所 鯉川聡氏	福岡大学
	九州の地方都市における国際観光	西南学院大学大学院 博士研究員 金戊丁氏	福岡大学
	「火」と「津」で九州を一つに －九州を活気づけるための提言－	(株)正興電機製作所 河野弘史氏	福岡大学
	食の博物館in九州	(株)ふくや 濱地武範氏	福岡大学

備考)助成元の「九経調」は九経調地域研究助成事業からの助成。「福岡大学」は福岡大学寄付研究連携
新殖産興業イノベーション研究講座からの助成

九経調地域研究助成顕彰事業 研究発表会

日 程	発表作品	発表者	参加者数
3月27日 (金)	【最優秀賞】 史跡等文化財活用へのPPP導入のあり方 ～鶴丸城御楼門復元プロジェクトからの考察～	(株)産学連携機構九州 吉村茂氏	220人
	【優秀賞】 「国境観光」と地域づくりの連携可能性 －長崎県対馬市の事例を中心に－	九州大学持続可能な社会のための 決断科学センター 花松泰倫氏	
	【優秀賞】 九州経済の活性化に向けた九州ブランドの 創出可能性調査 ～共通シンボルマークを創り、九州ブランドを海外へ～	(株)正興電機製作所 武内勝氏	

(4) 上海社会科学院日本研究センターとのMOU締結

9月1日、中国・上海において、当会は上海社会科学院日本研究センターと学術交流覚書(MOU)を締結した。相互の理解による信頼と協力関係に基づき、九州と上海をはじめ、東アジア地域のより一層の発展をめざしていく。

■学術交流の内容

- ・共同研究および学術行事等の共同開催の実施
- ・職員や研究員の交流
- ・研究報告書や出版物等の資料交換

■上海社会科学院日本研究センター

1958年に設立された社会科学に関する総合的な研究所。中国の政治経済をはじめ、社会科学のあらゆる分野の研究が行われている。10以上の研究所と研究院があり、日本研究センターはその1機関にあたる。

2. 経済図書館事業(BIZCOLI 事業)

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用した人の集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナー・イベントを開催し、人が集まり、知的な刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアや発想を促進している。また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成、資格試験の勉強などの場として活用されている。

(1) BIZCOLI の利用状況

平成 26 年度の利用者数は 13,479 人であり、前年度を約 10% 上回った。開館 3 年目を迎えて、知名度の向上やセミナー等の定期開催など広報に努めたことで、利用者数は着実に増加している。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	備考
平成 23 年度	1,350 人	
平成 24 年度	8,044 人	BIZCOLI 開館
平成 25 年度	12,238 人	
平成 26 年度	13,479 人	

(2) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では多くのセミナーやイベントを開催している。今年度は合計 94 回開催した。主に当会の成果物を発表する九経調イブニングセミナー、九州大学との共同イベントであるサイエンスカフェ、九州各地の話題や、文化などを取り上げる地域振興・文化関連セミナー、ビジネスの最前線で活躍する講師による経営・スキルアップに関するセミナーを開催した。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供している。

また秋の恒例行事となったアートイベントの他、日本香港協会全国連合会主催によるチャイニーズ・マネージメント&マーケティング・スクール (CMMS) の開催協力にあたった。

①九経調イブニングセミナー(計 15 回)

九州経済調査月報の特集をもとに、時宜にかなったテーマで毎月開催している。平成 26 年度は、「東九州道」や大河ドラマ軍師官兵衛にあわせた「歴史コンテンツと地域活性化」、

「ハラルビジネス」などを扱った。また、外部講師を招聘してのセミナーも開催している。

日 程	テーマ	発表者	参加者数
4月1日 (火)	九州経済調査月報4月号「地域生活インフラ」	南研究主査、能本研究主査、小柳研究員	12人
4月24日 (木)	九州経済産業局の地域経済施策～最近の経済情勢と経済対策の概要～	田中幸仁：九州経済産業局 総務企画部 広報・情報システム室 政策普及係長（施策コンシェルジュ）	29人
5月13日 (火)	九州経済調査月報5月号「東九州自動車道」	岡野次長、小柳研究員	48人
6月3日 (火)	九州経済調査月報6月号「地域エネルギーインフラ」	小柳研究員、鬼丸調査役、藤井主任研究員	26人
7月9日 (水)	九州経済調査月報7月号「健康食品・化粧品産業」＋データ九州「自治体予算」	小柳研究員、能本研究主査、藤井主任研究員	28人
8月5日 (火)	九州経済調査月報8月号「地域発インフラ輸出」	小柳研究員、藤井主任研究員、岡野次長	11人
9月2日 (火)	九州経済調査月報9月号「歴史コンテンツと地域活性化」	小柳研究員、藤井主任研究員	16人
9月8日 (月)	時間制約の中での情報収集と整理方法の極意～WBS出演の裏側	(一財)日本経済研究所・チーフエコノミスト 鍋山徹氏	43人
10月7日 (火)	九州経済調査月報10月号「女性人材の育成」	小柳研究員、藤井主任研究員	12人
10月22日 (水)	「アデランスの事業と一体化した戦略的CSR活動－CSRが新たなビジネスチャンスを作り出す－」	(株)アデランス CSR室長 箕輪睦夫氏、コメンテータ・井上昌美 大分大学准教授	21人
11月4日 (火)	九州経済調査月報11月号「ハラルビジネス」	松嶋研究主査、小柳研究員、藤井主任研究員	19人
12月2日 (火)	九州経済調査月報12月号「東九州自動車道のインパクト」	岡野次長、藤井主任研究員、小柳研究員	21人
1月6日 (火)	九州経済調査月報1月号「九州の新たな1年」	藤井主任研究員、小柳研究員	25人
2月3日 (火)	九州経済調査月報2月号「クリエイティブ産業とその支援策」	藤井主任研究員、小柳研究員	11人
3月3日 (火)	九州経済調査月報3月号「東九州道開通」	田代部長、岡野次長、藤井主任研究員、小柳研究員	24人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

②サイエンスカフェ(計13回)

サイエンスカフェは、科学を身近に感じてもらうために開催する、市民と研究者が触れ合う勉強会である。主に九州大学の研究者が講師となり、多彩なテーマで科学の最前線について講演している。平成26年度は、生物学、化学、物理などのテーマを取り上げた。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月4日 (金)	第18回サイエンスカフェ@ふくおか 「天然素材の都市伝説を科学する！」 ～きのこ、アロマ・・・自然の知られざる力～	九州大学 農学研究院環境農学部門 サステイナブル資源科学講座 清水邦義氏	61人

5月2日 (金)	第19回サイエンスカフェ@ふくおか 「生物の謎に迫る！」～永遠の好敵手、カエルとヘビの特殊能力に迫る！～	九州大学大学院農学研究院 講師 吉村友里氏	35人
6月7日 (土)	第20回サイエンスカフェ@ふくおか 「人体の謎に迫る！」 人体の奇跡、体内時計の仕組みを解き明かす！	九州大学芸術工学研究院 講師 伊藤浩史氏	49人
7月25日 (金)	第21回サイエンスカフェ@ふくおか 「人体の謎に迫る！」～心の中へ探検、心の謎に迫る！～	九州大学 芸術工学研究院及び、高等研究院講師 妹尾武治氏	51人
8月22日 (金)	第22回サイエンスカフェ@ふくおか 「究極のエコカー!?水素燃料電池自動車に迫る」	九州大学 水素エネルギー国際研究センター 講師 林灯氏	51人
9月12日 (金)	第23回サイエンスカフェ@ふくおか 「二酸化炭素を考える」 ～循環する物質、二酸化炭素を深く考える！～	九州大学カーボンニュートラルエネルギー国際研究所 講師 藤川茂紀氏	37人
9月30日 (火)	福岡市の新科学館を考えるサイエンスカフェ ○新しい科学館に期待することー海外ミュージアムの事例を交えながら ○日本の科学館を視察しての所感 ○企画・ファシリテーター	anno lab 代表 藤岡定氏 福岡市こども未来局 大木良一氏 九州大学大学院 坂倉真衣氏	47人
10月24日 (金)	第24回サイエンスカフェ@ふくおか 「ミクロな世界で水を見る！」 ～コンピュータシミュレーションで見る水の動き～	九州大学理学部情報基盤室 講師 久保田陽二氏	34人
10月29日 (水)	第2回福岡市の新科学館を考えるサイエンスカフェ 「福岡ならではの」から新科学館について考える ○親子で楽しむ科学館 ○企画・ファシリテーター	空気(株) ディレクター、代表取締役副社長 白川東一氏 九州大学大学院 坂倉真衣氏	44人
11月14日 (金)	第3回福岡市の新科学館を考えるサイエンスカフェ 「福岡ならではの」から新科学館について考える ○小学校理科の現状と新科学館に期待すること ○中学校の理科の現状と新科学館に期待すること ○地域での子ども、大人の関わりと新科学館に期待すること(仮) ○企画・ファシリテーター	少年科学文化会館・小学校 教諭 久我敏幸氏 福岡大学附属大濠高等学校・中学校 教諭 田中真氏 西日本短期大学 准教授 山下智也氏 九州大学大学院 坂倉真衣氏	43人
12月12日 (金)	第25回サイエンスカフェ@ふくおか 「生物の謎に迫る！おもしろい昆虫たち」 ～標本と生態からわかること～	九州大学農学研究院 昆虫学教室 講師 紙谷聡志氏	31人
1月30日 (金)	第26回サイエンスカフェ@ふくおか 「スプーン1杯、10億トン!極限物質"原子核"とは」 ～巨大加速器で迫る量子力学の世界～	九州大学 理学研究院物理学部門 坂口聡志氏	37人

3月13日 (金)	第27回サイエンスカフェ@ふくおか 「コンピュータにとって計算とはなにか？」 ～パソコン、スマホはなぜ動く～	九州大学大学院 システム情報科学研究院情報学部門 教授 竹田正幸氏	41人
--------------	--	---	-----

③地域振興・文化関連セミナー(計16回)

地域振興・文化関連セミナーでは、4月開催の「有田焼400年の物語」、9月開催の「鹿児島城(鶴丸城)・御楼門復元プロジェクト応援セミナー」、2月開催の「宗像・沖ノ島と関連遺産群」など、九州各地で話題となっているテーマを積極的に取り上げた。テーマに応じて、佐賀県や筑後エリア、鹿児島県など、各地から多くの参加があった。また、韓国で開催された「第7回 世界水フォーラム」にあわせて、「世界・日本・九州の水を考える」と題したセミナーを3月に開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
4月17日 (木)	九州国立博物館特別展「近衛家の国宝」 藤原氏嫡流が護り伝えた宮廷文化	九州歴史資料館学芸員 ／元・九州国立博物館展示課 主任研究員 酒井芳司氏	20人
4月23日 (水)	有田焼400年の物語 ～有田陶器市がさらに楽しくなる！～	有田商工会議所 会頭 (香蘭社・社長) 深川祐次氏	129人
6月9日 (月)	五感で感じる地域ブランド ～あまおうスパークリングワイン&音楽の夕べ	(株)コンシスト 取締役常務執行役員地域デザイン 傍士銚太氏	109人
6月30日 (月)	福祉を"デザイン"する～ピープルデザインが「福祉の常識」を変える！	NPO 法人ピープルデザイン研究所 代表理事 須藤 シンジ 氏	34人
7月16日 (水)	九国博・特別展「クリーブランド美術館展」への誘い	九州国立博物館 企画課研究員 鷲頭桂氏	22人
8月8日 (金)	一般質問に"使える"議会図書室	国立国会図書館関西館 塚田 洋氏	32人
8月29日 (金)	事例で見る 自治体のメディア活用と シティプロモーション 第1部 クール・HOKKAIDOの取組 について ～クールジャパン戦略の牽引に向けて 第2部 映像を利用した地域プロモーションの 情報発信	北海道経済部経営支援局 国際経済室 参事 三井真氏 九州朝日放送(株) コンテンツ事業部 部長代理 香月和宏氏	39人
9月9日 (火)	鹿児島城(鶴丸城)・御楼門復元プロジェクト 応援セミナー 鹿児島の未来を ひらく御楼門と薩摩の魂 「御楼門がみつめた薩摩の歴史～島津 の強さは家老力にあり」	鹿児島県立図書館 館長 原口泉氏	117人
10月7日 (火)	伝わる・感じる！英語プレゼン *10月7日、21日、11月11日、18 日の4回開催	福岡インターナショナルスクール マイルズ・ダーヴィン氏	38人
10月9日 (木)	九州国立博物館特別展 「台北 國立故宮博物院 神品至宝」の 歩き方	九州国立博物館振興財団 事務局長 竹下高美氏	18人
11月27日 (木)	アートが地域を変える ～人気美術館に学ぶ集客戦略	兵庫県立美術館 館長 蓑豊氏	43人

1月27日 (火)	九州国立博物館・百済展応援セミナー 「日本人が愛した百済」	九州国立博物館企画課 文化交流展室長 河野一隆氏	19人
2月2日 (月)	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」	九州大学法学研究院 主幹教授 河野俊行氏 海の道むなかた館館長 九州大学名誉教授 西谷正氏	115人
2月27日 (金)	「世界のウイスキーを旅する」 ～知れば知るほど美味しくなるセミナー &試飲会～	サントリー酒類(株)九州支社 ウイスキーアンバサダー	40人
3月17日 (火)	「アジアゲートウェイとしての FUKUOKA」 福岡の発展に寄与してきた福岡空港～ 福岡空港の歩み～	福岡空港ビルディング(株) 代表取締役副社長 馬場耕一氏	36人
3月27日 (金)	第7回世界水フォーラム参加企画・セ ミナー「世界・日本・九州の水を考え る」	日本水フォーラム代表 理事 竹村公太郎氏 国連ハビタット福岡本部 本部長 深澤良信氏	37人

④経営・スキルアップに関するセミナー(計11回)

経営・スキルアップに関するセミナーでは、福岡経済同友会や当会会員とのネットワークを活用して開催した。日本航空(株)による「客室乗務員のコミュニケーション術」、西鉄情報システム(株)による「ビッグデータ活用の現在とこれから」、福岡経済同友会会員による「地域企業の成長の秘訣～アライアンス経営の勧め～」等である。

日程	テーマ	講師	参加者数
4月16日 (水)	資格をめざす、資格を活かす ～中小企業診断士の魅力と資格の活用	中小企業診断士・ファイナンシャル プランナー(CFP・1級FP技能士) 安部欽也氏	20人
5月16日 (金)	グローバル戦略の要諦 ～人材育成を中心に	本多機工(株) 代表取締役社長 龍造寺健介氏	25人
5月26日 (月)	ビジネスパーソンに突然迫る!心臓病 のリスク～心臓病にならない人は”猫”で なく”犬”を飼う～ 「心臓病のリスク」「心臓病の最新の治 療」	福岡大学医学部 心臓・血管内科学 教授 朔啓二郎氏 福岡大学病院 循環器内科 講師 杉原充氏	61人
6月18日 (水)	資格をめざす、資格を活かす ～司法書士の魅力と 資格の活用	ラピス司法書士事務所 代表 井出誠氏	13人
7月18日 (金)	経理パーソンが知っておくべき統合報 告の基礎知識	ツトム経営研究所 代表/中小企業診断士 森下勉氏	20人
7月28日 (月)	客室乗務員のコミュニケーション術	日本航空(株) 客室品質企画部客室教育・ 訓練室アドバイザーグループ サービスアドバイザー青木香保里氏	45人
8月25日 (月)	ビッグデータ活用の現在とこれから 交通ビッグデータによる九州のビジネ ス構築事例に学ぶ	西鉄情報システム(株) ソリューション本部 副本部長 理事 浦正勝氏	44人

8月29日 (金)	事例で見る 自治体のメディア活用とシ ティプロモーション	北海道経済部経営支援局 国際経済室 参事 三井真氏 九州朝日放送(株) コンテンツ事業部 部長代理 香月和 宏氏	44人
11月12日 (水)	企業トップセミナー 「地域企業の成長の秘訣～アライア ンス経営の勧め～」	川邊事務所 会長 川邊康晴氏 (福岡経済同友会会員)	17人
1月22日 (木)	脳がシビれる心理学～ビジネス編	九州大学 芸術工学研究院 及び高等研究院 准教授 妹尾武治氏	28人
3月23日 (月)	スマートフォン時代の新集客術	(株)AliveCast 代表取締役 中村理氏	5人

⑤アートイベント(1回)

人々の感性を刺激するアートはまちやビジネスを変える力を持っており、アートを活用した地域再生の取り組みや動きが各地でおきている。BIZCOLI では、「2014 アートによる地域力創造～アートと経済が出会ったら」を実施した。

日 時 11月25日(火)～29日(土)

場 所 BIZCOLI

内 容 展示「九州の今を生きるアーティストの作品展」

特別展示「シャガールの油彩画」*11月26日限定

講演会「人気美術館に学ぶ集客戦略」金沢 21世紀美術館・特任館長 簗豊氏

演奏会 福岡ハイドン弦楽四重奏団

協 力 (有)みぞえ画廊、九州メンテナンス(株)、(公財)福岡文化財団、タカスガクデザイン

⑥チャイニーズ・マネージメント&マーケティング・スクール (CMMS) 開催協力 (38回)

チャイニーズ・マネージメント&マーケティング・スクール (CMMS) は、日本香港協会全国連合会が主催しており、中国企業および華人の価値基準や文化的バックグラウンド、ビジネス事例を体系的に学び、華人ビジネスに適応する人材を育てている。講義はテレビ会議システムを使い、東京、大阪に加えて、平成26年度から初めて福岡でも開催された。全38回、14名が受講した。当会は BIZCOLI の利用や会場の運営などで協力した。

(3) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、企業の新製品や話題のグッズを展示することで、アイデアの発想につながる仕掛けづくりに努めている。平成26年度は、国内外の30の行政や企業、団体等と共同で展示を行った。

【企業・団体との共同展示】（50音順）

企業・団体名	展示物など
有田商工会議所	有田焼の陶器 万華鏡 万年筆
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
大川市	大川組子
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)沖縄銀行	統計パネル・関連書籍
(株)沖縄タイムス社	沖縄の歴史パネル
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
香港貿易発展局	ビジネスセミナー「チャイニーズ・マネージメント&マーケティング・スクール (CMMS)」の関連書籍
(株)久原本家	パンフレット、紹介映像
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
(株)香蘭社	有田焼の陶器
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)しくみデザイン	パンフレット、関連映像
(株)ゼンリン	伊能図
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ニッソー	飯塚国際車椅子テニス大会のグッズ
日本通運(株)	国際海上物流の模型
八洋食品(株)	パンフレット、関連映像など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	市作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ホットプロシード	パンフレット、関連映像
(有)みぞえ画廊	シャガールの絵画
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)琉球銀行	戦後直後の通貨 (A 円 B 円)
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ユウグレナ	ミドリムシを活用した商品

3. 講演会・セミナーの開催

九経調主催の講演会・セミナー等では、近年、福岡以外の九州各地で開催するセミナーに力を入れている。九経調セミナーは、長崎と山口で開催した。長崎ではムスリム向けの食材であるハラルをテーマに取り上げた。山口では水素社会をテーマとした。平成26年度より開始した、各県知事との意見交換の場である「各県セミナー」は、8月に佐賀県古川康知事(当時)と「人口動態・将来人口」をテーマに開催し、活発な議論を交わした。

定例の講演会、セミナーでは、会員を対象とした「九経調交流会」、幹事会提案によるテーマの成果発表会である「研究報告会」(旧・特別講演会)、その時々々の経済のトレンドをテーマとした「経済講演会」では、いずれも200名超の来場があった。その他、当会参与の意見交換の場である「九経調参与会」、アジアの国や特定地域をテーマにした「アジア経済講演会」、シンクタンクの研究員を集めた勉強会である「調査技法セミナー」を開催した。

外部主催の講演会・セミナーには、78件の講師等の派遣を行った。同じく外部主催のセミナー等に、7件の参加や企画協力を行った。

国の機関および自治体、駐日外国公館等との意見交換会では、国内外の機関との意見交換を実施した。

(1) 九州各地でのセミナー等

①九州経済白書説明会(計11件)

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	3月3日 (火)	FFGホール (福岡銀行本店地下)	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	岡野次長	299人
北九州	3月18日 (水)	FFG北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	田代部長	109人
久留米	3月10日 (火)	筑邦銀行本店 大ホール	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	田代部長	84人
佐賀	3月23日 (月)	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	田代部長	44人
長崎	3月9日 (月)	十八銀行本店 本館会議室	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	田代部長	97人
佐世保	3月11日 (水)	FFG佐世保ビル セミナールーム	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	岡野次長	44人
熊本	3月19日 (木)	肥後銀行熊本駅前支店 セミナールーム くまもと森都心プラザ	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	岡野次長	88人
宮崎	3月26日 (木)	第一宮銀ビル	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	田代部長	69人

鹿児島	3月17日 (火)	鹿児島銀行 本店別館ホール	(株)鹿児島銀行 (株)鹿児島経済研究所	岡野次長	60人
沖縄	3月12日 (木)	ANA クラウンプラザホ テル沖縄 ハーパービ ュー 彩海の間	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	岡野次長	50人
山口	3月27日 (金)	シーモールパレス ダイヤモンドの間	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	岡野次長	90人

注) 2015年版九州経済白書「都市再構築と地方創生のデザイン」
大会場は、4月17日(金)に大分銀行宗麟館で開催(84人参加)

②九経調セミナー(計2件)

日程	会議名	テーマ	講師	参加者数
10月23日 (木)	九経調セミナーin 長崎	長崎におけるイスラムビジネスの可能性	松嶋研究主査	76人
3月19日 (木)	九経調セミナーin 山口	水素社会の到来 水素社会実現に向けた九州・山口の取組	岩谷産業(株)大阪支社ガス開発部長・日下裕之氏 徳田主任研究員	40人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

③各県セミナー(1件)

日程	会議名	テーマ	講師	参加者数
8月18日 (月)	佐賀県知事との意見交換会	人口動態・将来人口	片山次長	20人

*福岡県知事との意見交換会を企画中

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会(1件)

日程	内容	講師	参加者数
3月19日 (木)	九州から考える"地方創生"~地域の成長に向けた"3つの提案"	(一財)日本経済研究所 地域未来研究センター長 鍋山徹氏	226人

②研究報告会(1件)

日程	内容	講師	参加者数
12月19日 (金)	東九州道(北九州~宮崎)開通のインパクト~循環型高速交通体系が拓く東九州の未来~	(一財)みやぎん経済研究所杉山智行氏 (株)大銀経済経営研究所 野上諭氏 田代部長、岡野次長	230人

③九経調参与会(1件)

日程	内容	講師	参加者数
3月4日 (水)	2015年版九州経済白書 「都市再構築と地方創生デザイン」	田代部長	20人

④アジア経済講演会（1件）

日程	テーマ	講師	参加者数
8月29日 (金)	ワールドカップ後のブラジル～近年の 発展と直面する課題	アジア経済研究所ラテンアメリカ研究 グループ 近田亮平氏	25人

⑤調査技法セミナー（1件/2日間）

日程	内容	講師
8月7日 (木)	「地域の未来を考える」「WBSの1日」 「フリーディスカッション」	(一財)日本経済研究所専務理事 鍋山徹氏、 同調査局長 大西達也氏、岡野次長
8月8日 (金)	「ヒアリング術」「景気指標の読み方」 「意見交換会」	藤井主任研究員、小柳研究員

注1) 参加機関：(株)ふくおかフィナンシャルグループ、(株)NCB リサーチ&コンサルティング、
(株)北九州経済研究所、(株)ちくぎん地域経済研究所、(株)長崎経済研究所、(株)大銀経済経営研究所、
(一財)みやぎん経済研究所、(株)鹿児島経済研究所、(一財)山口経済研究所

注2) 自主研究・事業基金を活用した事業

⑥経済講演会（1件）

日程	内容	講師	参加者数
11月5日 (水)	アベノミクスと日本経済の展望	モルガン・スタンレーMUFG証券(株) マネージング・ディレクター、チーフエ コノミスト ロバート・アラン・フェルドマン氏	224人

(3) 外部主催の講演会・セミナー

◆外部主催の講演会等への講師派遣

行政や企業など外部主催の講演会に、当会研究員を講師として派遣する事業である。
今年度は合計78件の派遣があった。内訳は、九州経済白書をテーマとした外部講演が14
件、幹事会提案によるテーマでの講演が7件、その他のテーマでの外部講演が57件であ
った。

*派遣先リストは巻末に資料として掲載。

◆セミナー等への参加・企画協力

当会は、産学官が開催、あるいは共催するセミナーにも主体的に関わっている。上
期は、7件のセミナー等への参加・企画協力を行った。

協力実績(計7件)

日程・場所	主催者	会合名	備考
5月8日(木) 電気ビル共創館 カンファレンス	宗教法人福岡マシジド	第1回HFC(ハラールフード協議 会)セミナー「イスラームの食物基準 について」	共催 企画協力

5月14日(水) 福岡SRPセンタービル	(公財)九州先端科学技術研究所 (ISIT)	ISIT研究顧問会議 2014 特別オープンセッション	共催 企画協力
6月9日(月) 電気ビル共創館 カンファレンス	在日フランス商工会	フランスー九州経済投資セミナー	後援
7月30日(水) リーガロイヤル ホテル小倉	(一社)九州経済連合会 九州国際化推進機構(KEI) ジェトロ福岡貿易情報センター	タイ投資セミナー(北九州)	後援
7月30日(水) 電気ビル共創館 カンファレンス	(一社)九州経済連合会 九州国際化推進機構(KEI) ジェトロ福岡貿易情報センター	ベトナム・ダナンセミナーin 福岡	後援
2月9日(月) 電気ビルみらい ホール	㈱産学連携機構九州 九州 PPP センター、協賛:大和リース㈱、時 事通信社、㈱西日本新聞社、㈱ 日本政策投資銀行、㈱福岡銀 行、㈱西日本シティ銀行	九州 PPP セミナー	協賛
3月11日(水) ホテルニューオ ータニ博多	タイ王国大使館経済・投資事務所 全国後援:略 地域後援:九州経済産業局、福 岡県、九州経済国際化推進機 構、福岡市、北九州市、福岡商議 所、北九州商議所、北九州貿易 協会、㈱北九州銀行、㈱西日本 シティ銀行、㈱福岡銀行	タイ投資セミナー(福岡)	後援

*上記には、コーディネーターや講師、発言者としての参加を含む

(4) 国の機関および自治体、駐日外国公館等との意見交換会 (計6件)

日程	会議名	テーマ	講師・ 参加者	参加者数
5月15日 (木)	福岡財務支局	九州の未来力 2030 東九州自動車道の開通と九州経済	大谷主任研究員	18人
5月23日 (金)	日本銀行福岡支店と九経調による勉強会	①「九州・沖縄地域における製造業の設備投資動向」 ②「九州における最近の銀行券受払動向の特徴とその背景」 ③「九州農業の競争力強化に向けて」	岡野次長	12人
6月11日 (水)	福岡財務支局、㈱日本政策投資銀行九州支店、本多機工㈱	九州の未来力 2030 九州出島構想勉強会	森本理事長 片山次長	12人
7月1日 (火)	九州農政局と九経調との意見交換会	「農業新時代」、「農林水産業・地域の活力創造プランの改定」について、九州農業白書の概要	岡野次長	18人
8月28日 (木)	佐賀銀行・佐賀県と九経調との意見交換会	PPP/PFI を巡る最近の動向について～地方における PPP/PFI 事業参入のポイント～	上田研究員	10人
9月1日 (月)	九州・上海 経済研究セミナー (中国上海)	上海社会科学院日本研究中心とのセミナー、MOU 締結	田代部長	25人
9月17日 (水)～19日 (金)	日韓海峡圏研究機関協議会 研究会 (韓国・光州)	福岡におけるライブ市場拡大の構図	南研究主査	39人

9月30日 (火)	福岡財務支局と九経調との勉強会	景気の「読み方」について	藤井主任研究員、 小柳研究員	7人
12月10日 (水)	(一社)全国地方銀行協会	九州経済の動向	田代部長	5人
12月11日 (木)	九州経済産業局	地方創生に関する意見交換会	平田主任研究員	18人
1月16日 (金)	クールジャパン機構	地元シンクタンクからみた有田焼産地	田代部長、 藤井主任研究員、 岡本主任研究員	12人
2月6日 (金)	福岡県 (一社)九州経済連合会	第1回九州地域戦略会議しごとの場づくりPT会議「しごとの場づくりに向けた九州のポテンシャル」	田代部長	40人
2月24日 (火)	在大阪英国総領事館	在大阪英国総領事館との意見交換会「九州の概要と経済見通し」	平田主任研究員、 小柳研究員	3人
2月26日 (木)	在福岡米国領事館	アメリカ国務省日本部、在福岡米国総領事館との意見交換会「九州の概要と経済見通し」	加峯次長 小柳研究員	5人

4. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会からの事務局受託

福岡経済同友会は、10の委員会を設置しており、各委員会において、講演会や視察会を実施し、委員会での議論を踏まえて提言を発信するなど、地域経済発展のために積極的な活動を展開している。また、様々な交流会を開催し、ネットワーク作りの場にもなっている。

会員数 457名（期首）→ 456名（期末）

平成26年度決算 収入 79,331,千円（前期繰越収支差額除くと65,584千円）

支出 66,175,千円

平成26年度の主な活動（九州経済同友会を含む）

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車九州(株)宮田工場視察会 開催 ・第7期九州メンタープロジェクト 実施 ・福岡市との意見交換会 開催 ・福北合同会議 開催 ・日露フォーラム 開催 ・県立高等学校、市立中学校にて出前講座 開催 ・社会貢献セミナー 開催 ・2020年東京五輪の経済効果と成長戦略 講演会 開催 ・シンポジウム「地方創生の切り札『本社機能の地方分権』を考える」 東京開催 ・スペイン・モロッコ視察会 実施 ・かたらん会21 福岡経営道場 開催
---------	--

九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・第63回九州経済同友会大会（九同友福岡大会）開催 ・道州制に関する取り組み 九州はひとつ委員会 道州制に関するWG開催 経済4団体での道州制勉強会 開催 ・九州地域戦略会議に参画 ・西日本経済同友会 代表者会議、会員合同懇談会に参加
---------	--

*その他講演会、会合など開催。上記を含む総会合数 191回(うち共催・後援 46回)

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

「九州経済を考える懇談会」は、九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の現状・将来動向に関する重要課題について、認識の共有と課題解決の方向性について議論をするものである。(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会の3者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネータを務めている。平成22年度からの「地域経営を考える政策懇談会」を当初予定した10回を開催した後、平成25年1月から名称を変更した。平成26年度は、4回開催した。

開催実績 (計4件)

No	日程・場所	テーマ
第1回	5月8日(木) (一社)九州経済連合会会議室	九州農業の競争力強化に向けた取組みについて
第2回	7月30日(水) (一社)九州経済連合会会議室	九州農業の競争力強化に向けた取組みについて <具体策>
第3回	10月1日(水) (一社)九州経済連合会会議室	九州一体となった水産業の振興について
第4回	2月16日(月) (一社)九州経済連合会会議室	今後の福岡空港の活用について

(3) アジア半導体機構 (ASTSA) の事務局

アジア半導体機構 (ASTSA) は、アジアを中心とした海外と九州の半導体関連産業を繋ぐ仲介役として、設立された任意団体である。毎年、半導体実装国際ワークショップ (MAP : Microelectronic Assembling and Packaging) を開催している。

■事務局会合

幹事会 5月29日(木) 於・福岡市

■ビジネスミッション・海外調査

九州ー台湾の地域間交流 6月29日(日)～7月3日(木) 於・台湾
インドミッション団視察受入 7月16日(水) 於・福岡市
九州ーベトナムの地域間交流 9月3日(水)～9月7日(日) 於・ホーチミン
九州ーベトナムの地域間交流 10月22日(水)～25日(土) 於・ホーチミン

■セミナー等

MAP2015（半導体実装国際ワークショップ）

10月20日（月） 於・福岡市

ベトナム知財セミナー 2月18日（水） 於・福岡市

新デバイス実装研究会 ※NPO 法人半導体目利きボード主催、ASTSA 共催

2月26日（水） 於・福岡市

マレーシア知財セミナー 3月11日（水） 於・福岡市

■その他

九州ー山形県鶴岡市 地域間交流ミッション団受入

9月18日（木）～19日（金） 於・福岡、熊本

九州ー山形県鶴岡市 地域間交流ミッション団受入

12月16日（火）～17日（水） 於・大分

九州ー滋賀県ーベトナム交流ミッションサポート

11月8日（土）～11月16日（日） 於・ホーチミン

（４）地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」（事務局長：谷口博文 九州大学産学連携センター教授）は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学セミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

平成26年度は、78名（受講生24名、聴講生54名）が受講した。14回の授業を実施して、11月には成果発表会となる「政策研究発表会」を開催した。

講師一覧

氏名	所属・役職
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
麻生 泰	(一社)九州経済連合会 会長
萩原 なつ子	立教大学大学院 教授
江守 正多	国立環境研究所地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室長
善養寺 幸子	政策コンサルタント・一級建築士・エコエナジーラボ 代表取締役
森永 卓郎	獨協大学教授・経済アナリスト
浅野 史郎	神奈川大学 特別招聘教授・前宮城県知事
木内 岳志	農林水産省 環境政策課長
牧野 光朗	長野県飯田市長・元日本政策投資銀行

小松 利光	九州大学工学研究院 特命教授
高宮 俊諦	(株)タカミヤ 代表取締役
寺西 俊一	一橋大学大学院経済学研究科 特任教授
村木 厚子	厚生労働省 事務次官
辰巳 浩	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授
白石 順一	環境省 参与
小林 成基	自転車活用推進研究会 理事長
森戸 裕一	サイバー大学 教授
樋渡 啓祐	武雄市長
外尾 悦郎	彫刻家
麻生 渡	【基調講演】(一財)九州地域産業活性化センター 理事長

(5) 九州ソーラーネットワーク (SONEQ) の事務局

「九州ソーラーネットワーク (SONEQ)」(会長：高塚汎 太陽光発電技術研究組合専務理事)は、九州の太陽光発電関連の企業群と教育機関や行政が一体となって、九州における太陽電池の市場拡大や産業の裾野拡大、地場企業の振興、人材育成などをサポートする産学官民ネットワーク組織である。当会は、九州経済産業局の依頼を受けて準備段階から関わり、発足とともにその事務局を務めている。

SONEQは会員制の組織であり、平成27年3月末における正会員(企業等は有料)は106会員、メルマガ会員(無料)は724会員に達している。

開催実績・関係行事(計4件)

日程・場所	内容
6月30日(月)	平成26年度SONEQ役員会、研究会テーマ選定審査会、総会、記念セミナー
9月9日(火)	太陽光発電の農業への展開 第1回研究会
9月15日(月)	クリーンエネルギーフォーラム(佐賀県)
9月18日(木)	再生可能エネルギー利用可般型電動自転車ポート開発 第1回研究会
11月4日(火)	太陽光発電の農業への展開 第2回研究会
12月17日(水)	太陽光発電の農業への展開 第3回研究会
1月19日(月)	第1回講演会「再生可能エネルギー政策と太陽光発電ビジネスのこれから」
2月23日(月)	再生可能エネルギー利用可般型電動自転車ポート開発 第2回研究会
3月6日(金)	第2回講演会「ソーラーの農地への導入に関する開発経緯とその展望」

(6) 九州エコライフポイントの事務局

九州エコライフポイントは、九州の住民が行う家庭での電気使用量の削減や森林の育成・保全などの環境保全活動への参加、また省エネ製品の購入の取組に対し、ポイント券を交付している。この事業は地球温暖化防止対策とともに地域経済の活性化につなげることを目的とされている。当会は、この事業を実施する九州版炭素マイレージ制度推進協議会*の依頼を受けて準備段階から関わり、発足とともにその事務局を務めている。

*九州各県（沖縄県を除く）のほか、九州各県地球温暖化防止活動推進センター、九州経済連合会等の経済団体、九州電力㈱、九州旅客鉄道㈱等の企業、25 団体で構成

平成 26 年度実施状況

■夏の電気使用量削減活動

7月から9月までの3カ月間、夏の電気使用量の削減活動を実施した。募集世帯目標 5,000 世帯に対し、6,703 世帯が参加した。

■冬の電気使用量削減活動

12月から1月までの3カ月間、冬の電気使用量の削減活動を実施した。募集世帯目標 5,000 世帯に対し、6,351 世帯が参加した。

■環境保全活動

ワーキンググループにおいて、対象要件が合致するかどうかを審査し、39 団体 86 活動を認定した。

■省エネ製品

九州内に本社がある企業、もしくは九州内に工場を有し、そこで製造している省エネ製品を対象とし、省エネ法のトップランナー基準に該当するものや CO₂削減量が定量化できるものなどを認定要件とし、外部審査員による審査委員会で 13 社 15 製品が省エネ製品として認定された。

(7) イスラム圏ビジネスネットワーク in 九州 (IBnet) の事務局

「イスラム圏ビジネスネットワーク in 九州 (IBnet)」は、イスラム教諸国へのビジネス展開を検討する企業による研究会組織で、フセイン牛島氏 (イスラムビジネスコンサルタント) と当会で運営している。

今年度は、イラン・イスラム共和国大使館、マレーシア投資開発庁大阪事務所との協力のもと、「イスラムビジネスフェア in 九州」を開催した。オープニングセミナーでは、イラン・イスラム共和国大使 レザー・ナザルアーハリ閣下からのビデオメッセージの他、イラン大使館マハムードレザ ラドボイー等書記官、マレーシア投資開発庁大阪事務所ザヒルウ イシャック所長による特別講演を催した。

情報発信手段として、メールマガジンを配信しており、現在、55 会員、Facebook のグループ登録件数は 44 件となっている。

開催実績・関係行事（1件）

日程・場所	内 容
5月8日（木）	ハラル評議会セミナー「イスラムの食物基準について」（福岡 Masjid と共催）
3月16日（月）	イスラムビジネスフェア in 九州 オープニングセミナー （BIZCOLI にてイスラムビジネスフェアを同時開催（3月16～20日））

5. 社会貢献活動等

社会貢献活動は、委員派遣や大学への非常勤講師の派遣、テレビ、ラジオ、新聞などのマスコミ対応、国内外の会議への参加といった対外活動、そして研修や学生インターンシップの受入れを行っている。

（1）対外活動

対外活動は、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への掲載、国内会議や国際会議への参加、外部原稿の寄稿を行っている。

対外活動実績

区 分	内 容
①委員会等委員派遣	国（九州経済産業局、九州農政局、九州地方整備局）、県・市（福岡県、長崎県、熊本県、北九州市、糸島市、佐世保市、福岡県築上町、熊本県小国町、福岡県立図書館）、民間（（一社）九州経済連合会、福岡商工会議所、（一社）九州観光推進機構、（一財）九州産業技術センター、（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター、（公財）福岡アジア都市研究所、機械振興協会、経営者顕彰財団、（株）地域開発研究所）など計 81 件
②大学非常勤講師派遣	福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、近畿大学、流通科学大学など計 5 大学 7 講座に派遣
③テレビ・ラジオ出演	TVQ 九州放送ぐっ!ジョブ、TNC スーパーニュース、KBC アサデス、FBS NEWS 5 ちゃん、RKB 今日感ニュース、NHK ニュース、NHK 長崎、MRT ニュース、テレビ新潟、KBC ラジオなど計 30 回出演
④新聞（電子版を含む）・雑誌掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムス、北國新聞、農経新聞、物流ニッポン新聞、日刊建設工業新聞など 281 回掲載
⑤外部原稿	（株）NCB リサーチ&コンサルティング「飛翔」、（株）長崎経済研究所「ながさき経済」、（株）大銀経済経営研究所「おおいの経済と経営」、（一財）みやぎん経済研究所「経済月報」、「エコノミスト ザ・九州」、「ビジネス・レーバー・トレンド」、「木材情報」など計 24 回

⑥国内会議等への参加	九州北部三県研究機関連絡会議総会 地方シンクタンク協議会九州・沖縄ブロック総会・交流会 九州の未来力 2030、など
⑦国際会議等への参加	九州上海経済交流ミッション 2014 (中国・上海) 第9回福岡・釜山フォーラム (韓国・釜山) 日韓海峡圏研究機関協議会総会 (韓国・光州) 九州日本香港協会・2015年春節シンポジウム (福岡)

(2) インターンシップの受入れ

調査研究部と BIZCOLI において、インターンシップ生を合計 3 名受け入れた。

インターンシップの受入実績

期間	研修・インターンシップ派遣元と人数	受入
8月18日(月)～29日(金)	愛知学院大学学部生 1名	調査研究部
8月25日(月)～9月19日(金)	九州大学修士生 2名	BIZCOLI

6. 組織運営の基盤強化

(1) 会員基盤の強化

① 賛助会員

BIZCOLI や研究成果の発表、講演、セミナーを通じて、会員拡大に努めている。平成 26 年度は、入会 42 件、退会 27 件となり、期首 548 会員から 15 会員純増して 563 会員となった。会費実勢額は 1 億 2,446 万円となった。

賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
平成 26 年度期首	548	74	453	20	1
入 会	42	0	41	0	1
退 会	27	0	26	1	0
増 減	15	0	15	-1	1
会員種別変更	0	1	-1	0	0
平成 26 年度期末	563	75	467	19	2

会員数 563 会員

・会費実勢額 1 億 2,446 万円

②BIZCOLI 会員

平成 26 年度は、期首 72 会員から 10 会員純増して 82 会員となった。会費実勢額（月会費×12 ヶ月）は、平成 27 年 3 月末で 621.6 万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳(82 会員)

種別	会員数	種別	会員数
フルタイム	3	フルタイム+土曜日	4
デイトタイム	15	デイトタイム+土曜日	1
ナイトタイム	43	ナイトタイム+土曜日	9
土曜日	7		

(2) 公益財団法人としての運営組織の確立

公益財団法人へ移行して 2 年が経過した。理事会、評議員会に加えて、幹事会や参与会を定例化し、公益財団法人としての組織力を向上した。行政に対しては各県セミナー、地域に対しては幹事会提案による自主研究テーマの研究報告会など、会員にとどまらず地域に対しても幅広いサービスを実施することで、研究成果を還元している。

会計については、新公益会計基準に基づく会計処理に対応し、精度を向上している。

資料

外部主催の講演への講師派遣（計 78 件）

①九州経済白書をテーマとした外部講演（計 14 件）

日程	依頼先	テーマ	講師
4月9日 (水)	(一社)九州経済連合会	九経連宮崎地域委員会「アグリプレナーが拓く農業新時代」	岡野次長
4月18日 (金)	証券アナリスト協会	アグリプレナーが拓く農業新時代	藤井主任研究員
4月23日 (水)	九州電力(株)東京支社	2014年版九州経済白書の概要	岡野次長
4月25日 (金)	住友商事九州(株)	6次産業化する農業への取り組みを考える会「アグリプレナーが拓く農業新時代」	岡野次長
5月21日 (水)	JA 鹿児島中央会	アグリプレナーが拓く農業新時代	岡野次長
5月28日 (水)	福岡県議会事務局	九州の自立を考える会・第3回ワーキングチーム会議「再浮揚めざす農産物輸出」	田代部長
6月11日 (水)	(公財)日本関税協会 門司支部	九州の農業の実態～農産物輸出について	岡野次長
6月15日 (日)	消費生活アドバイザーコン サルタント協会	アグリプレナーが拓く農業新時代	岡野次長
7月8日 (火)	住商アグリビジネス(株)	住商会「アグリプレナーが拓く“農業新時代”」	徳田主任研究員
10月15日 (水)	宮崎県	みやざきフードビジネス推進大会(基調講演+コーディネータ)	岡野次長
10月21日 (火)	(一社)北九州銀行協会	代表者会 九州農業の未来	岡野次長
10月21日 (火)	九州日立グループ会	アグリプレナーが拓く九州農業新時代～変わる農業経営と新しい農業ビジネスの現場	岡野次長
3月13日 (金)	九州産業大学 産業経営研 究所	「都市再構築と地方創生のデザイン」(2015年版九州経済白書)	岡野次長
3月29日 (日)	東北大学	日本地理学会シンポジウム「広域中心都市・福岡～日本第4の大都市へ」(2015年版九州経済白書)	田代部長

②幹事会提案によるテーマの外部講演(計 7 件)

日程	依頼先	テーマ	講師
7月12日 (土)	(公社)日本青年会議所 九州地区協議会	九州の未来創造フォーラム(パネリスト)「東九州自動車道」	田代部長
7月25日 (金)	宮崎県鉄道整備促進期成 同盟会	東九州自動車道及び九州新幹線の開通効果について	大谷主任研究員
9月11日 (木)	(社)延岡青年会議所	東九州の新時代における延岡市の可能性	大谷主任研究員
9月20日 (土)	日向市	高速道路開通で変わる日向市を考えるシンポジウム	大谷主任研究員
2月2日 (月)	東九州新幹線鉄道建設促 進期成会	東九州新幹線鉄道シンポジウム	大谷主任研究員 (コーディネータ)

2月5日 (木)	宮崎県(東九州の新時代における本県の地域振興を考える会)	東九州自動車道(北九州～宮崎)開通のインパクト	大谷主任研究員
3月25日 (水)	九経連東九州軸活性化企画推進委員会	東九州自動車道(北九州～宮崎)開通のインパクト	岡野次長

③その他の外部講演(計 57 件)

日程	依頼先	テーマ	講師
4月22日 (火)	(一社)北九州銀行協会	2014 年度の九州経済の見通し～消費増税の影響をみる～	岡野次長
4月22日 (火)	三井物産(株)九州支社	九州経済の構造と最近の動向	小柳研究員
4月22日 (火)	(株)サワライズ	総合職研修会「2014 年度の九州経済の見通し」	田代部長
4月23日 (水)	三菱電機(株)九州支社	2014 年度の九州経済の見通し	小柳研究員
5月30日 (金)	九州経済産業局	九州地域再生可能エネルギー連絡会議「再生可能エネルギー分野における中小企業の競争環境調査 調査報告」	藤井主任研究員
6月9日 (月)	金沢商工会議所	九州新幹線の影響と今後の課題～開業から今日までの回顧と今後の展望～	大谷主任研究員
6月13日 (金)	(公財)日本関税協会 長崎支部	外国クルーズ客船誘致戦略の新展開	上田研究員
6月20日 (金)	経友会 (野田税務会計事務所)	研修会「九州経済の可能性－第三の矢が私たちにもたらすもの－」	小柳研究員
6月30日 (月)	福岡県男女共同参画センター あすばる	プロフェッショナルへのキャリア&ライフパス(パネリスト)	平田主任研究員
7月3日 (木)	(株)オービック 福岡支店	オービック情報セミナー「九州経済・産業の構造を読む～どうなる今後の九州経済？」	岡野次長
7月3日 (木)	(独法)日本学術振興会	第 11 回 次世代の太陽光発電システム シンポジウム「九州における太陽光発電ビジネスの状況と今後の見通し」	藤井主任研究員
7月10日 (木)	丸紅建材(株)	消費税増税後の九州・沖縄経済～今後の展望～	岡野次長
8月21日 (木)	熊本県港湾協会	日本港湾協会九州地区連合会第 61 回通常総会「港を活用した地域の振興について～農水産物輸出をとりまく状況について」	岡野次長
8月25日 (月)	大分県林業経営者協会	九州経済と日田林業の今後	能本研究主査
8月28日 (木)	(学)麻生塾	アジア進出企業&アジア人材活用企業の事例について	大谷主任研究員
9月2日 (火)	マイポートみいけ利用促進協議会	三池港ポートセミナー柳川 「地方の港湾の活性化と三池港の可能性」	加峯次長
9月8日 (月)	北九州商工会議所	第 19 期第 1 回流通委員会卓話会 人口減少社会における社会全般のあるべき方向性	岡野次長
9月11日 (木)	福岡県産業廃棄物協会	水素エネルギーについて	徳田主任研究員
9月18日 (木)	諫早大村法人会	九州経済の情勢分析	岡野次長

10月1日 (水)	(学)麻生塾	アジア進出企業&アジア人材活用企業の事例について	大谷主任研究員
10月1日 (水)	(株)福岡リアルティ	アベノミクスと九州経済～九州経済の概観と2014年の九州経済の見通し(改訂)について～	岡野次長
10月3日 (金)	福岡証券取引所	福証単場会セミナー「2014年度九州経済の見通し」	藤井主任研究員
10月3日 (金)	九州丸紅建材会	消費増税後の九州・沖縄経済～九州経済の概観と2014年の九州経済の見通し(改訂)について～	岡野次長
10月5日 (日)	日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 福岡支部	FPコンサルティングに役立つ九州経済の見通し	小柳研究員
10月17日 (金)	あなぶき興産九州(株)	九州景気の現状・見通しと経済動向	小柳研究員
10月21日 (火)	(一社)福岡銀行協会	九州経済の見通し(改訂)	田代部長
10月22日 (水)	福岡コミュニケーションフォーラム	消費増税後の九州経済の動き	岡野次長
10月30日 (木)	全国教職員互助団体協議会	九州経済の概観と2014年の九州経済の見通し	岡野次長
11月1日 (土)	(株)西日本シティ銀行東京本部	NCB「総合研究フォーラム」福岡研修「アベノミクスと九州経済」	岡野次長
11月4日 (火)	伊万里港振興会伊万里港東京セミナー	アジアとつながる九州～九州の経済と産業のポテンシャル～	岡野次長
11月13日 (木)	(株)りゅうぎん総合研究所	平成26年度下期 九州・山口地方銀行調査担当部長会議「イスラムビジネスの可能性」	田代部長
11月13日 (木)	(株)オービック	九州におけるイスラム経済圏に対するビジネスの可能性	松嶋研究主査
11月14日 (金)	境界地域研究ネットワーク JAPAN	境界地域研究ネットワーク JAPAN (JIBSN) 竹富セミナー「日本の国境観光を拓く～西の国境観光の経験から」	島田研究主査
11月16日 (日)	九州大学ビジネス・スクール(QBS)	経営幹部のための短期エグゼクティブ・プログラム開講講話「アジアの中の九州」	田代部長
11月17日 (月)	(学)麻生塾	グローバル人材活用の事例紹介について	大谷主任研究員
11月18日 (火)	福岡県倉庫協会	九州の景気	藤井主任研究員
11月19日 (水)	(株)琉球銀行、(株)りゅうぎん総合研究所	りゅうぎんビジネスクラブ「アベノミクスと九州・全国の動向」	藤井主任研究員
11月20日 (木)	福岡県倉庫協会	九州の景気	小柳研究員
11月20日 (木)	九州ビルデング協会	九州経済・産業の動向～図説九州経済2015～	岡野次長
11月20日 (木)	(株)JR博多シティ	モーニングセミナー1「九州経済の概要と博多地区のポテンシャル」	松嶋研究主査
11月21日 (金)	(株)JR博多シティ	モーニングセミナー2「九州経済の概要と博多地区のポテンシャル」	松嶋研究主査
11月26日 (水)	(株)フジタ九州支店	九州の景気動向と今後の見通し	藤井主任研究員
11月27日 (木)	創発協議会(佐賀県農林水産商工本部アドバイザー)	BNPパリバ証券グローバル機関投資家・九州視察会「九州経済の現状」	田代部長

12月3日 (水)	ナイス㈱	九州の経済動向からみる住宅産業の中長期展望	能本研究主査
12月12日 (金)	(一社)日本太陽エネルギー学会	第12回セミナー「PV先進地区九州の普及と動向」	藤井主任研究員
12月25日 (木)	(一社)九州経済連合会	2015年度九州経済の見通し	小柳研究員
1月19日 (月)	札幌商工会議所	道央圏観光戦略研究会「外貨獲得と獲得した資金の域内での循環」	大谷主任研究員
1月22日 (木)	沖縄工業高等専門学校	東アジア経済圏グローバル技術者育成共同プログラム 講演(自動車産業について)	平田主任研究員
2月10日 (火)	ケイミュー@都城	九州の景気動向	能本研究主査
2月12日 (木)	ケイミュー@薬院	九州の景気動向	能本研究主査
2月16日 (月)	熊本県球磨地域振興局	地方創生に関する情報交換会	片山次長
2月19日 (木)	福岡国際大学	福岡国際大学 集中講座	松嶋研究主査
2月20日 (金)	副都心黒崎開発推進会議事務局	《特別講演》地方都市の未来～新しい都心のかたち～	岡野次長
2月23日 (月)	福岡県生コンクリート工業組合	2015年の経済展望(九州・福岡)	小柳研究員
2月27日 (金)	天神サロン	地方創生と九州の課題	森本理事長
2月27日 (金)	㈱オービック	九州経済の見通し	岡野次長
3月20日 (金)	駐福岡韓国総領事館	日本・九州経済の現状と見通し	小柳研究員